

岩手県 軽米町議会

議会だより

# かるまい

No. 239

令和6年10月23日発行

## 主な内容



特集 〔9月定例会のポイント〕

令和5年度決算認定



9月定例会 一般質問に6人登壇

12



9月定例会 採決結果

20



インタビュー 「かるまい町に住んでみて」

24

今回の表紙は  
花のまち軽米こども園運動会

今回の表紙は9月27日に行われた花のまち軽米こども園の運動会での親子競技の1枚です。





移動投票所

## 投票所の統廃合について

**問** 投票所数は何か所になるのか。  
**答** 24投票所から12投票所となる。

**問** 選挙の投票所が減少するが、遠い方への対策は、期日前投票所の新設や移動期日前投票所の開設を行う。  
**答** 有権者数の減少により次回選挙から掲示板の数が減少する。国政選挙は180か所から96か所になる。町の選挙では121か所から92か所となる。



産業振興 P5

水田等の補助について  
農業の担い手確保



教育 P7

高校への助成  
郷土芸能体験



暮らしと福祉 P4

長寿祝金  
クリーンアップデーの実施  
バス運行の維持



道路・消防 P6

消防団の水利確認用地図  
町道の整備計画  
町道の維持管理

# 令和5年度決算を認定及び 条例改正を可決

## 議案14件すべて可決

令和6年9月定例会（第11回定例会）は、9月2日から13日までの12日間の会期で開かれ、令和5年度一般会計と、特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算等に関して認定しました。その他補正予算2件、財産の取得、条例の一部改正についての議論が行われ、提案された議案14件すべてを可決しました。

今回の9月定例会のポイントとは特別委員会で話題となったマイナンバーカードに移行される予定のマイナ保険証や、水田などの農地に関する交付金など、議論が集中したものを紹介します。



マイナンバーカードと保険証

## マイナ保険証の影響

マイナ保険証に移行するにあたって、12月2日に現在の被保険者証が廃止される。当町ではマイナンバーカードを所持していない方、及びマイナンバーカードを保険証として登録していない方には、1年間使用できる資格確認書を送付する。



# 産業振興

## 水田等の補助について

水田農業推進事業 **485** 万円

軽米町農業再生協議会を活用し、行政と農業団体等が連携した経営所得安定対策等の取り組みが図られた。

問 5 年に 1 度水張をしていないと水田ではなくなるのか。

答 水田で無くなるのではなく補助金の交付対象水田で無くなる。



水稻

## 農業の担い手確保

軽米町親元就農給付金事業 **216** 万円

町の農業振興の中核となる担い手の確保、育成を図ることを目的として、満 55 歳未満の親元就農者に対して軽米町親元就農給付金を交付した。

問 給付金受給者の現在の農業従事に関する状況等について追跡調査しているのか。また、給付後離農した者はいるか。

答 給付は終了しても、認定農業者になってもらうためのいろいろなサポートをしているので、追跡はしている。離農した方は今のところいない。



田植え作業

## ぎかいの視点

### 農業の担い手対策

軽米町では農業の担い手育成相談窓口が必要と考える。

耕作放棄地対策対応にも各地区のコミュニティを図りながら進めていく必要がある。



えごま畑

# 暮らしと福祉

## 長寿祝金

長寿祝金 **222** 万円

99 歳及び 100 歳に到達した高齢者に対して、祝い金を贈り長寿を祝い、敬老思想の高揚と老人福祉の増進を図った。

問 100 歳を超えても元気に生活している人に対し表彰などをして良いのではないか。

答 元気に 100 歳を迎えた方へ何か検討できないか周辺市町村や二戸広域と相談していく。

## バス運行の維持

バス運行業務委託 **6,181** 万円

路線バスの撤退により廃止路線となった地域において、バスを委託運行することで、地域住民の移動手段が確保され、利便の提供につながった。

問 学校に登校している児童・生徒も路線バスを利用して通学するようにしてはどうか。

答 現在でも路線バスをスクールバスとして利用している路線もある。利便性の向上のための検討を進めていく。



クリーンアップデー

## クリーンアップデーの実施

クリーンアップデーの実施 **2** 万円

町民総参加で町内全域にわたり、道路、河川等の清掃を行い、美しい町づくりと環境衛生に対する意識の高揚を図った。

問 クリーンアップデー実施の報告を受けているのか、また行政区ごとにばらつきがあるかどうか。

答 報告は受けていない。それぞれの行政区にてできる範囲で行ってもらう。



路線バス





県立軽米高等学校

# 教育

## 高校への助成

軽米高等学校教育  
振興会事業費補助金 **1,217** 万円

軽米高等学校への町内外からの入学希望者の増加に向けて、教育活動の充実・促進を図るとともに、在籍生徒の保護者負担の軽減を図るため、軽米高等学校教育振興会が行う教育振興事業に要する経費に対し助成した。

問 使用用途の指定がないのは問題ないのか。

答 制約を設けずに軽米高等学校で使用しやすいようにしている。



駒踊り

## 郷土芸能体験

問 小学校等の統廃合を行ったが、地域に根付いた郷土芸能を教育に取り入れているのか。

答 すべての団体の要望に応えることはできていないが、出来る限り郷土芸能学習は各学校にて実施している。

## ぎかいの視点

### 軽米高校の入学者増を

軽米高校は2年続けて、定員40人割れし、1クラス減の危機的状況にある。軽米高校の魅力発信とともに、教育費軽減のため、町の支援は不可欠であり、町民の理解も必要。

# 道路・消防

## 消防団の水利確認用地図

問 若い団員などは地域名などでは分かりづらく、水利の位置が分からない場合もあるため、各消防団に確認用の地図などを配布したらどうか。

答 防火水槽や、消火栓などをすぐにスマホやタブレットで確認できるような形で共有していきたい。



消火栓

## 町道の整備計画

町道参勤街道線道路改良工事 **3,949** 万円

交通安全確保のため未改修箇所の整備を行い、地域住民の交通の利便性向上を図った。

問 参勤街道線の現状について。

答 現在沼地区から旧農協晴山支所までの区間を早期完成に向け整備・工事を進めている。



町道参勤街道線

## 町道の維持管理

町道舗装修繕工事 **660** 万円

安全・安心な道路環境の確保と沿道の生活環境の保全を図り、一般の交通に支障を及ぼさないよう道路の維持管理に努めた。

問 現在ある道路の補修整備の整備状況はどうなっているのか。

答 町道の補修整備については、順次パトロールにより損傷の著しい箇所から穴埋め等を実施している。



道路補修

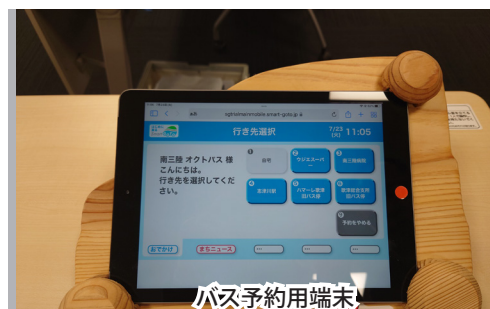


# 総務教育民生常任委員会 南三陸町視察研修報告



7月22、23日に総務教育民生常任委員会の視察研修を実施しました。今回は南三陸町で実施している予約型乗り合い交通サービス「SmartGOTO」を視察してきました。スマートフォンやタブレットにて予約する事ができるサービスで、予約するとその場に来るバスが来るサービスとなっています。

実際の運用では各地区のタクシー会社や南三陸GOTO協議会という組織にて運用しており、高齢者の方や次のバスまでの時間が長いなどの課題を解消出来るよう運行していました。平日のみ運行しており、土日の運行に関する課題などについても学ぶ場となりました。



バス予約用端末

今回の行政視察研修地は、南三陸町でした。三陸震災最大の被害を受け、住民一丸となり復興に努力され様々な施設を整備したところ町内外の客足が増え活気が出て来ていると聞き、街づくりには集合施設整備が重要であることを学びました。

## 大村副委員長

デマンド型交通を導入するには既存のバスやタクシー事業者との事業の棲み分けが必要。南三陸町は企業の協力が有るので現在は成り立っている事から事業経費を考えると慎重に考える必要があるかと思われました。

## 上山委員長

デマンド型交通を導入するには既存のバスやタクシー事業者との事業の棲み分けが必要。南三陸町は企業の協力が有るので現在は成り立っている事から事業経費を考えると慎重に考える必要があるかと思われました。

## 中村委員

予約型乗り合い交通サービスは、町民バスデマンド運行と情報連携による利便性向上と地域交通の充実を目的としていました。課題もあり土日に利用できない事が軽米で導入する際に重要な部分だと思われました。

## 細谷地委員

7月23日に視察研修した南三陸町における予約型乗り合い交通サービスについて感想を述べたいと思います。AIを駆使したデマンド交通の実施状況と実態を伺って過疎地域における全部をカバーする難しさ、タクシー業者間との調整など難しさを感じました。

## 甲斐委員

今回の視察研修を終えスクールバス運転手の空いている時間をオンデマンドバスとして運行してもらうなどの方法などを考えていきたい。前日などに予約して利用したい時間帯に近くまで来てくれるとお年寄りも利用しやすい良いと思いました。

# 産業建設常任委員会 一関市視察研修報告



有限会社かさい農産

8月29、30日に産業建設常任委員会の視察研修を実施しました。今回実施した視察研修のテーマは、GAP認証と、スマート農業の2つとし、実際に県内で認証を取得し、実地で行っている農家に訪問しました。

GAP認証では有限会社かさい農産に訪問しました。GAP認証を2種類同年の取得を日本で最初に行った農

家です。他に就労継続支援事業所の運営も行っていました。スマート農業では個人農家の藤野さんの農場に訪問しました。こちらでは農薬散布しながら人に追従する、またはリモコンで操作できるロボットを使用しています。農薬散布だけではなくその他にも様々な換装することが出来るようでした。



スマート農業視察

## 茶屋委員長

スマート農業ロボット導入により、小菊の大規模栽培を実現しました。生産者の藤野さんは経営理念を「良品を作る。良品を売る、良心とともに」としており、全量出荷できるよう日々試行錯誤をし、毎日汗をかく力強さに感動しました。



視察先のハウス

## 西舘副委員長

一関市のかさい農産を視察してきました。かさい農産では、世界基準であるグローバルGAP認証を取得し就労継続支援事業所を併設して障害のある方と後期高齢者を雇用し加工品などを製造販売しています。これらの農業の形として大変参考になりました。

## 田村委員

認証して消費者に農薬などに頼らず、安心して食べることが出来る野菜や食品を育てていました。就労継続支援事業所を併設しており、障害のある方たちと一緒に働いていました。その方たちも働く場所があり、夢と希望をもって毎日過ごしているでしょう。

## 江刺家委員

GAPの指定を受ける意味や方法を聞くことが出来ました。この農場は、女性が働きやすいように勤務時間や休暇の取り方など細かい工夫で、数々の表彰を受けていました。スマート農業の方は、休耕田を利用して小菊を栽培。農薬散布、運搬に使用する機械を見ることが出来ました。体力的にも楽になり、便利さを感じました。

## 田中委員

スマート農業視察研修、これからの軽米町農林振興について、地域、法人、個人、それぞれの計画と、検討できることは検討することが大切なことだと考えさせられた研修でした。

## 松浦委員

南三陸町のバスによるデマンド交通を視察してきました。現在、オンデマンド交通には至らず試行錯誤されていました。軽米町で実施する際は、是非オンデマンド交通を目指したいと思いました。



# 子育て（親）世代と一緒に 少子化を考える懇談会

7月30日、31日、8月1日の3日間で子育て（親）世代と一緒に少子化を考える懇談会を町内の各小学校で開催しました。

7月30日、31日、8月1日の3日間で子育て（親）世代と一緒に少子化を考える懇談会を町内の各小学校で開催しました。

保護者の方からも子

育ての中で実際に困ったことや、今思っていること、疑問となつて

学校や地域によつて違う意見や、共通の話題もありました。

実際に意見として、町の情報発信について

や、子供の遊べる場所に関すること、児童クラブについて等がありました。



## これからも 町民意見を

## 懇談会の 必要性

今回の懇談会は様々な意見が飛び交う場になりました。

議会として町民の方々の意見を聞くことは必要だと強く感じました。これからは話を聞く場を作っていかなければならないと感じました。

この懇談会を人口減少対策として生かすために、1つずつ解決していかなければならないと思いました。（中村）



今回の懇談会をしてみて3地区とも若い人たちは若い人の町に対しての要望や子育てに対する考えがあり、このような機会は少ないため、人数は少なくとも有意義な懇談会でした。

議員としても町民の方々の意見を聞くというのには必要なことだと改めて感じました。

これからこのような懇談会は必要だと思います。（田村）

若い人たちから正直な意見を聞くことが出来ました。自分が気が付かないことも多く、様々なことを考えているなどと思いました。

情報が少ないという意見に関しては、皆さんが仕事を持っていて今はコミュニケーションの場が少ないように感じました。

子供の遊び場が少ないとの意見も地域に小さな公園のようなものがあれば良いのかもしれない。（茶屋）

## 子ども達の 遊び場を

## 子育て世代 の本音



子育て世代の生の要望や意見を聞くことができてよかったです。

児童クラブを夏休み冬休み期間に送迎がなくて利用しにくいとか、スポーツ少年団への送迎、軽米高校存続など様々要望が出されて議会としても調査研究して町に提言する必要があると思います。

制度はあっても中身を充実させるなど。中学生・高校生の親世代とも懇談してみたいです。（江刺家）

## スクールバス の見直し

## ホームページ の見直し

児童クラブの料金に関する話があったが、金額に関しての設定に関しては話をしていきたいです。

若い人たちからは情報が得にくいなど、ホームページの更新等をしてほしいとの話がありました。

スクールバスは今まで距離に応じてなどの部分を撤回していければと思います。

そのほかにも仕事場がないなどの話もありました。

職場が無く外に働きに行っているなどの意見もありました。

ある企業を活性化して行くなど等様々な方法を考えていかなければいけません。

支援を行っていかないと感じました。（上山）

スクールバスの路線再編に関しても早急に行っていかなければならないと感じました。（田中）







消防団と自主防災への支援

問 町の自主防災への取り組みは

町長 自主防災組織への支援と広報を強化

【町長】 4月1日現在、21名の方が資格者登録されている。本年度も2名が防災士養成研修会へ参加。

これまでの、結成済みの自主防災組織に対し、防災士養成研修会の案内を行っていたが、今後は広報かるまいやホームページなどで研修会開催の周知を図ることとし、未結成地区における自主防災組織の結成を進める。

結成支援として、軽米町行政区活動交付金、認定された自主防災組織が属する行政区で、年1回以上防災訓練や研修会等を実施した場合、交付金に2割を加算した額を交付

問 防災士の養成と自主防災組織の結成を進めるための取り組み状況について伺う。



小型発電機

また、自主防災組織の結成準備に係る研修会の開催などの事業は、4分の3の補助、結成後は要援護者対策事業として支援に必要な機械購入費や燃料費、防災資機材を購入する費用に限度額はあるが、補助金による支援。自主防災組織の必要性について、広報を実施してきたが、町民に対する広報活動をより一層強化徹底する。

【町長】 近年、人口減少、少子高齢化、農業従事者の減少やサラリーマンの増加による消防団員の減少に関し、当町だけに限らず、全国的な課題である。消防団の再編については、1つの選択肢となる。8月12日の台風5号に対して消防団員が警戒活動に対応したように、仮に町内全域が水防の対象となった場合、分団部の数が減少すれば、広い管轄区域に対応しなければならず、消防団により大きな負担となる。

また、統廃合により、部がなくなった地域は、災害発生時に消防団や常備消防などの

外部からの即時の対応が困難となる場合もあり、有事における地域の消防力の低下を招く恐れがあると考える。

消防団の特性である地域密着性、災害時の即応対応力の観点から、現時点では、再編を早急に進めていく考えは無いが、消防活動を円滑に行うため、また地域の消防力を維持するために、消防団の再編、機能別消防団員の導入も含め、消防団と意見交換を図りながら引き続き検討する。



消防演習

第11回定例会 6人が登壇  
一般質問

一般質問とは  
・定例会に限り、町政全般に関して質問できます  
・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です  
・質問者の順番は通告した順番で行われます  
・同一項目についての再質問は2回までできます  
・時間の制限はありません



・町の防災について



・障がい福祉サービスの充実  
・子育て環境について



・町の遊休資産の今後の活用



・ホームページの運用  
・自治体デジタル化について



・聖地巡礼対応について  
・かるまい文化交流センターの裁判の進捗状況  
・青少年ホームの解体及び跡地活用



・改正農業基本法の町長の認識と農家支援  
・マイナ保険証  
・案内板の設置や整備



町議会HP  
QRコード

掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。





たむら 田村 せつ

福祉支援やサービス

## 問 福祉サービスの充実を

町長 町の実情に合ったサービスを検討する

**問** 町外の養護学校や特別支援学校に通学している児童・生徒の保護者へ交通費を助成しては。

**町長** 保護者の収入状況により支給率は異なるが、交通費の他、教科用図書費・給食・学用品費が県から支給されている。

しかしながら、経済的負担軽減があるとはいえ、精神的負担も大きいと感じている。今後は、支援体制の充実を国・県に働きかけるとともに心のケアなどの支援も行っていく。

**問** 障がい者グループホームの設置の必要性を伺う。

**町長** 町には、障がい者支援施設等はあるが、障がい者グループホームについてはサ



向川原親水公園

病児保育の検討

**問** 病児保育についての考えは。

**町長** 病児保育は医療機関に併設されていて、専門の施設・看護師・保育士の人材確保などの課題があり、現時点ではかなり難しいものと考えているが、子ども・子育て支援策

実施の可能性を検討する

**問** 病児保育への考えは

策のより一層の充実を図るためにも、病児保育・病後児保育の広域利用も含め実施の可能性を検討していく。今後とも子どもを安心して産み育てられる街づくりのため、保育環境の充実に取り組んでいく。

遊具や公園の整備

**問** 公園の整備への考えは。

**町長** 令和5年度に向川原親水公園を改修し新しく4つの遊具を整備した。今後は雪谷川ダムフォリストパー

**問** 公園の整備は

遊休地を含め総合的に検討

ク・軽米をはじめ既存の公園に町内外の集客向上にもつながるような、遊具等の整備や町の遊休地の活用等も含め総合的に検討していく。



たなか 田中 ゆうすけ 祐典

分かりやすい情報源を

## 問 ホームページの運用

町長 情報の整理と見やすさを工夫する



軽米町ホームページ

子育て世代と一緒に少子化を考える懇談会の中でホームページについて話題になった。改善していく必要があると考えるがこれからの計画を伺う。

**町長** 町のホームページは、平成8年12月に運用を開始し、その後数回のリニューアルを行い、平成29年4月から現在に至る。トップページ、全体のデザインなどの大枠の部分は専門業者に作成を依頼し、その後は各課で必要な情報や記事を作成し運用。

現在の方法は、情報を早く提供できるというメリットもある反面、見易さや関連情報をわかりやすく表示するなどが十分に出来ず、専門業者に委託した場合と比較し劣る部分はあると考える。

町のホームページの課題を改善するためには、大幅な改修が必要になることから、他市町村の事例を調査研究しながら検討する。

今後も、ホームページの情報の整理や見易さなどを工夫し、少しでも満足度を高めるよう努める。

デジタル連携

**問** デジタル化の推進

町に即したデジタル化を進める

**問** デジタル化による自治体本来の姿の回復、コストの削減と安心安全の確保、デジタル連携による幸せな暮らしの実現と言われているが、町長の考えを伺う。

**町長** 令和4年6月「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、自治体においては、行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用し、住民の利便性を向上させ、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められる。

労働人口の減少に伴う、職員や地域の担い手の減少、住民のライフスタイルの変化、ニーズの多様化により、行政の業務量は年々増加しており、持続可能な行政運営には、デジタル技術による事務の効率化、省力が必要。当町では、住民と自治体の接点であるフロントヤードの多様化・充実化を重点とし、一部申請やイベント申込みのオンライン化を進めている。

また、電子決裁や内部チャットツールの導入を進めている。今後は、他自治体の事例の情報収集に努め、当町に即したデジタル化を進める。





遊休資産の有効活用

問 遊休資産の今後の活用について

町長 若者住宅など有効な活用策を考えていく

【町長】 旧軽米中央公民館、旧図書館については、施設の老朽化が進んでいること、今後の維持管理経費、安全面などの懸念もあり、多くの町民の意見を踏まえ、かるまい文化交流センターとして建て替えたものである。建て替え後の旧施設については、その機能が新設されたことか



旧軽米中央公民館



旧軽米町立図書館

ら、基本的には解体する方向だが、活用するために、安全性や老朽化に伴う改修の必要性、維持管理費が発生することから、慎重な議論が必要。今後は、旧施設を解体して新たな活用策を検討するのか、旧軽米中央公民館のみならず旧図書館、公衆トイレなど、それぞれの施設ごとに、保存や活用していくのか等について、公共施設の管理計画の中で議論する。



旧いちい荘跡地

【町長】 いちい荘の跡地の利用は、現時点でどのように考えているのか。若者定住団地としては最適と思うが、考えを伺う。町長の6期目の公約「若者定住対策の推進」に若者世代用住宅建設・宅地の分譲があるが、そろそろ形が見えてきてもいい頃ではないかと思うが、どのように進められているのか伺う。

【町長】 若者定住対策については、各課横断のプロジェクト事業に位置付けることとし、本年7月に「若者定住促進プロジェクト」を立ち上げた。プロジェクトでは、町有地の遊休地の現状、既存住宅の改修支援、若者自らが住宅整備する場合の支援、賃貸住宅の充実、民間住宅の活用、空き家住宅の活用など多方面から検討し、限りある財源の中で、効果的な方法を見極めながら制度設計を進める。展開可能な施策から順次実行に移す。旧いちい荘跡地については、遊休地の一つであることから、若者定住のための住宅整備も含め有効な活用策について考える。



聖地巡礼への対応

問 ハイキューファンで賑わっているが

町長 海外からも多く2月から6,445人訪れた



宇漢米館

【町長】 宇漢米館の写真撮影スポットへの来場者調べでは、7月は6,211人8月は2,152人。今年の累計で延べ6,445人が訪れた。映画化をきっかけに、日本だけでなく、海外からも多く訪れている。

【町長】 漫画、アニメを活用したまちづくりやにぎわい創出など、出版社と協議してきたが、漫画の公式舞台は別であり、軽米町は漫画との公式な関係性がないこと、作者の出身地も非公表としていることなどから、町が表立って漫画や映画のタイトルを使った催しや情報発信等を行うことは、著作権の侵害にあたる恐れがあると指摘を受けた。現時点では、慎重な対応が必要な状況である。今後も、出版社等と継続協議し、有効な方法等を引き続き検討していきたい。

遊休地の活用

問 青少年ホーム解体後の跡地の活用は。

【町長】 旧青少年ホームの跡地は、萩田地区にあり、周辺に公営住宅や医療機関の他、商業施設が近くにある立地条件から様々な活用方法が可能と考える。

問 若者住宅の整備計画は

町長 若者定住プロジェクトで検討

【町長】 各課横断の若者定住促進プロジェクトで遊休地や若者住宅支援などを多方面から検討する。青少年ホーム跡地は、遊休地であり、若者定住のための住宅整備も含め有効な活用策を考えたい。

裁判の状況

問 裁判のその後は

町長 6月に裁判官へ説明

【町長】 岩手県への損害賠償請求裁判のその後の状況は。3、6、8月に行われ、特に6月は、裁判官説明を行った。今後は、双方の主張立証が概ね出揃ったと裁判所が判断した時点で、和解を含む今後の方向性が示されるのではないかと。結審は、あくまで裁判所の判断に委ねられている。



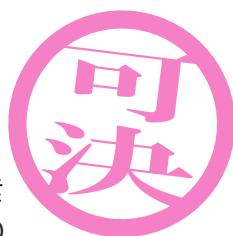
## 議案第2号 後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

### 反対 マイナ保険証に反対

これまで使用してきた紙の保険証を廃止し資格確認証に改めるものでマイナンバーカードの取得が必須となるがマイナンバーカードは任意取得が原則だがそれに反するもの。

カードの管理が困難である人を置き去りとしている。自治体への業務の負担増など問題点が多い中の一本化に対して反対である。

江刺家静子 議員



## 議案第3号 軽米町国民健康保険条例の一部改正

### 反対 被保険者証の廃止に反対

これまでの保険証を廃止しマイナンバーカードに保険証の資格を一体化するもので、今年の12月2日から現行の保険証は新たに発行されず廃止される。

現在マイナンバーカードにて様々な問題が発生している。現時点では準備不足であるため反対である。

江刺家静子 議員



## 議案第4号 令和5年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定

### 反対 会計年度任用職員の待遇改善を

会計年度任用職員のすべてがパート職員である。正規職員の増を望むがせめてフルタイムでの雇用を望む。

江刺家静子 議員

### 賛成 健全な財政状況である

会計年度任用職員による職員体制の維持を図りながら確実な町政の進展が行われている。審査結果はおおむね適正に執行されていると評価するため、本議案に賛成する。

上山誠 議員



## 議案第5号 令和5年度軽米町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

### 反対 被保険者への負担軽減を

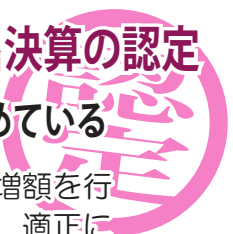
18歳までの高校生への均等割りの免除、18歳未満65歳以上まで短期の保険証が発行を無くすことを望む。

江刺家静子 議員

### 賛成 公正公平の確保に努めている

安易に被保険者への国保税の増額を行うことなく経営努力をしており、適正に執行されたと評価するため、本議案に賛成する。

田中祐典 議員



## 議案第8号 令和5年度軽米町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

### 反対 更なる負担増に反対

後期高齢者医療保険料が年金の金額が上がらないまま負担が大きくなっている。75歳以上の高齢者を切り離して医療費の負担を増やしていく後期高齢者医

療制度に反対する。高齢になっても保険料や治療費の心配がない制度を望む。

江刺家静子 議員



### 農業への支援

## 問 町の基幹産業である農業に支援を

### 町長 基本法改正を踏まえ、諸施策に対応



えきしか しずこ  
江刺家 静子



耕作放棄地



水田

【町長】これまでの基本法は、食料自給率の減少や耕作放棄地の急増、農業従事者の高齢化などを引き起こした。新基本法について考えを問う。

【町長】新基本法は「食料の安定供給」を「食料の安全保障」に改め、新たに「環境と調和のとれた食料システムの確立」を規定。食糧・農業農村をめぐる諸情勢の変化に対応するための改正である。関係機関と一体となり対応していきたい。

【町長】これまでの基本法は、食料自給率の減少や耕作放棄地の急増、農業従事者の高齢化などを引き起こした。新基本法について考えを問う。

【町長】米価は令和3年産まで下落し、最近の上昇傾向にある。令和4年産の労働費は3万3千円代半ばであり、生産費に労働費を加えると赤字であるが、米価が需給バランスにより決定されるため町単独の助成は難しい。

酪農乳価は安定している。黒毛和種の子牛価格下落には補給金交付されている。動向を注視し検討したい。



これまでの基本法は、食料自給率の減少や耕作放棄地の急増、農業従事者の高齢化などを引き起こした。新基本法について考えを問う。



生産費に及ばない米価・酪農・畜産の電気料高騰など経費に支援が必要でないか。

### 案内板



### 町の案内板整備

#### 設置場所の検討

#### 修繕をする

【町長】ハートフル・スポーツランド入口の案内板や町の表示塔など、塗装や点検整備が必要ではないか。

【町長】所管課で状況を確認に努め、より効果的な案内板の設置場所の検討など計画的に維持修繕に努めたい。現状予算で対応できるものは早急に修繕等する。

### マイナ保険証



### マイナ保険証の現状は

マイナ保険証が未登録の方に通知を送る



【町長】現行の健康保険証の廃止が12月2日に迫っている。

マイナンバーカードは任意取得が原則。これからの対応と現状について伺う。

【町長】国保加入者の紐づけ不一致は確認されていない。

マイナ保険証の登録者は7月現在61.5%カードに内蔵されている電子証明書有効期限は5年（期限の3か月前に通知）マイナ保険証の利用登録がない方には「資格確認書」を送付する。現在の健康保険証の有効期限は令和7年7月31日である。



第 10 回臨時会

7月31日開催  
臨時会開催結果

第 10 回臨時会は 7 月 31 日に開催され、情報通信施設放送設備更新工事（第 1 期）の請負契約の締結、小型動力ポンプ付き積載車の購入の計 2 件を全員賛成で可決しました。特に情報通信施設放送設備更新工事（第 1 期）の請負契約の締結に関して今後の工事予定などを踏まえた慎重な審議が行われました。

情報通信施設放送設備  
更新工事（第 1 期）

1 億 2,428 万円  
(契約業者：北日本通信株式会社)

小型動力ポンプ付き  
積載車

1,270 万円  
(契約業者：互光商事株式会社)

# 町政調査会の活動報告

## 軽米病院環境整備活動



議員 11 人のほか、シルバー人材センター等から多数の参加をしていただきました

軽米町町政調査会（大村税会長）は 7 月 13 日に、今年で 11 年連続となる県立軽米病院の環境整備活動を行いました。議員 11 人のほか、町民の皆さんからもお手伝いただいたき、病院前駐車場周辺の草刈り作業と高所作業車で軽米病院の出入口の外灯の光を遮っている樹木の剪定作業等を手分けして行うことで、県立軽米病院の景観美化に努めました。

## 秋まつり軽米音頭流し踊りに参加

今年度は通年通りのコースとなりました。今年も軽米町町政調査会は、軽米秋まつり中日の 9 月 15 日に開催された軽米音頭流し踊りに参加しました。8 名の議員が浴衣姿で役場職員とともに踊りました。



流し踊り集合写真

## ＜ 9 月定例会 ＞ 採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
同意案①	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて 〔工藤健三氏＝本町、任期令和 6 年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日〕	同意 (全員賛成)
議案①	令和 6 年度軽米町一般会計補正予算（第 2 号）の専決処分 〔歳入歳出総額を 1598 万 6 千円増額し 68 億 2398 万 6 千円〕	承認 (全員賛成)
議案②	岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更 〔法改正に伴い、所要の改正をするもの〕	可決 (賛成多数)
議案③	軽米町国民健康保険条例の一部改正 〔法改正に伴い、所要の改正をするもの〕	可決 (賛成多数)
議案④	令和 5 年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 74 億 83 万 2538 円〕	認定 (賛成多数)
議案⑤	令和 5 年度軽米町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 10 億 946 万 5112 円〕	認定 (賛成多数)
議案⑥	令和 5 年度軽米町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 1 億 1368 万 708 円〕	認定 (全員賛成)
議案⑦	令和 5 年度軽米町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 985 万 3224 円〕	認定 (賛成多数)
議案⑧	令和 5 年度軽米町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 1 億 965 万 3313 円〕	認定 (賛成多数)
議案⑨	令和 5 年度軽米町水道事業会計決算の認定	認定 (全員賛成)
議案⑩	令和 6 年度軽米町一般会計補正予算（第 3 号） 〔3 億 8900 万円を増額し、総額 72 億 1298 万 6 千円〕	可決 (全員賛成)
議案⑪	令和 6 年度軽米町介護保険特別会計補正予算（第 1 号） 〔141 万 7 千円を増額し、総額 1079 万 1 千円〕	
議案⑫	財産の取得に関する議決 〔軽米町立小中学校の児童生徒へ給食を提供するため、食器洗浄機・食缶洗浄機を買い入れするもの〕	
議案⑬	財産の取得に関する追認議決 〔令和 2 年度において、財産の取得を行うにあたり、議会の議決を経て取得すべきところ、これを経ずに買入れを行っていたため、追認の議決を求めるもの〕	
議案⑭	財産の取得に関する追認議決 〔令和 6 年度において、財産の取得を行うにあたり、議会の議決を経て取得すべきところ、これを経ずに買入れを行っていたため、追認の議決を求めるもの〕	不採択 (全員賛成)
請願陳情④	マイナ保険証への原則一本化を撤回し、現行の健康保険証の発行存続を求める請願	
請願陳情⑤	豊かな学びの実現、教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを図るための、2025 年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願	採択 (全員賛成)
発議案①	豊かな学びの実現、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 〔請願陳情⑤に関連し政府関係機関に意見書を提出するもの〕	可決 (全員賛成)
	人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、特別委員会の調査活動を認めるもの〕	可決 (全員賛成)
	議会改革調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、特別委員会の調査活動を認めるもの〕	
	委員会の閉会中の所管事務調査 〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	



## 議会報編集常任委員会の活動報告

全国町村議会広報研修会

□9月25日(水)  
□東京都 ニッショーホール

講師3名による「広報担当者が知っておきたい法律知識」、「パッと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座」、「読まれない議会だより」の発行の価値無し」をテーマとした講義が行われました。情報発信する側の思いを具体的にわかりやすく、町民に伝わる広報紙作りの知識や基礎について学びました。



ニッショーホール前

## まちの名所めぐり vol. ⑥ 山田の千本松



山田の千本松

山田地区にある巨大な松。樹齢は約280年ほどと推定されており、軽米町の指定天然記念物として昭和55年4月1日に指定されています。松の種類はアカマツで高さが17メートルあり、幹の太さは4メートルほどとされています。現在ではこの木をモチーフにしたお菓子もあり、大切にされてきたことが分かります。

## 町政調査会の活動報告

### パークゴルフはつらつ大会を開催



大会終了後の記念撮影

今回で10回目を迎えた、町民と議員の交流を目的としたパークゴルフはつらつ大会が10月2日に開催されました。ハートフル・スポーツランドパークゴルフ場を会場に、参加者は59名と議員8名でにぎわいました。

初心者の方から経験者の方まで、多くの町民が参加し議員との交流を楽しみました。

Aブロックは令和6年度中パークゴルフ協会主催の大会で獲得ポイント上位24名の方となっています。

### 各ブロック上位5名のスコア

Aブロック 順位	名前(敬称略)	ハンディ	スコア
1	川島 勇太郎		93
2	木村 貢		96
3	安藤 ユウ子	-5	96
4	木村 あき子	-5	97
5	梅木 靖子	-5	99

Bブロック 順位	名前(敬称略)	ハンディ	スコア
1	川原木 キヌ	-5	105
2	駒目 キミヨ	-5	105
3	田澤 清蔵		107
4	井戸下 則男		109
5	日山 一夫		109



Aブロック上位5名



Bブロック上位5名



プレー中の様子



プレー中の交流

## 今回の表紙

### 【花のまち軽米こども園運動会】

今回の表紙は9月27日に行われた、花のまち軽米こども園の運動会の写真です。園児のみの競技の他に、親御さんとの対抗レースや、協力してゴールを目指すものもありました。当日は天気にも恵まれ、いきいきとした園児たちの楽し気な声援が地域に響きわたりました。





# かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ③⑥

おおしだ しょう  
大志田 匠祐 さん

一戸町出身 (平)

妻・長男・長女・義父・義母の6人家族



## 結婚を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？

一戸町で暮らしていましたが、結婚を機に妻の実家がある軽米町で暮らすことにしました。

☞ 軽米町に来る前や来てからの印象は？

来る前はほとんど名前しか知りませんでした。山本町長は昔獣医として酪農をしている実家に往診で来てくれたことがあり存じておりました。来てからは、地域や他の保護者の方がフレンドリーでとても暖かい町だと感じました。

## 子育て支援

☞ 軽米町の良いところは？

子育てのしやすい町だと思います。

周りの方とのふれあいも多くあたたかい町です。

☞ 他市町村の方が良いところは？

買い物をするためのお店  
の充実や、遊ぶための施設  
が必要だと思います。

☞ 今後の軽米町に望むことは？

少子化が進んでいく世の中ですが、活気のある町であってほしいです。

### 募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町にいられた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

### お詫びと訂正

『かるまい議会だより 238号』において、誤りがありました。お詫びして以下のとおり訂正いたします。

#### 2 ページ

(町を活性化するスペシャリスト)

2 ページ上段 3・4 行目

(誤) 菅野 由紀夫 さん

(正) 菅野 由喜男 さん

かるまい  
議会だより

発行日 令和6年10月23日発行 (No. 239)

発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄

編集 議会報編集常任委員会

〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85

TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335

URL <https://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長 村上 田中  
副委員長 上田 斐  
委員 甲斐 中村  
委員 茶屋

せつ 誠典  
祐 祐康  
正 正志  
隆 隆



軽米町議会だより  
はこちらから